

謹賀新年

女性の一生をサポートする病院を目指して

《語る人》

医療法人財団今井会足立病院 理事長

畑山博 先生



平成から令和へ改元された昨年、足立病院では院長が交代。23年間院長職にあった畑山博先生は医療法人財団の理事長に、澤田守男先生が7代目院長にそれぞれ就任しました。少子化の流れが加速する中、子どもを育てたいと思える地域づくりを目指して、新たな取り組みも始まります。保育園などを運営するあだち福祉会の理事長も兼務する畑山先生に聞きました。

若い世代が住み続けたいと思える街に

少子化ストップを目指して

——理事長になられて、病院グループ全体に目配りするお立場です
畑山 足立病院が現在の場所に開院して120年近くになります。産婦人科を主体とした医療法人財団として歩み続け、お産のほか、小児科、不妊治療、乳がん検診、腹腔鏡手術、在宅医療と、女性の一生に寄り添う医療を提供してきました。一方で、子育て支援センターや病児保育園、小規模保育園を設置して、子育て中のお母さんへの支援にも乗り出しました。働く女性が増えて、待機児童が社会問題化してくると、社会福祉法人あだち福祉会を設立し、一昨年、

ロジエクトを発表されました

畑山 生活保護や就学援助を受けている家庭の子どもたちに食料品を無料で届ける「京都子ども宅食プロジェクト」という取り組みです。当会が主体となつて、京都市一般社団法人子ども宅食応援団と連携して行います。まずは京都市内の約500世帯を対象に、今年度中にスタートします。宅食を続ける中で、各家庭の状況を把握し、子ども食堂や学習支援などにもつなげていければと考えています。さまざまな理由から家計が苦しくて、きちんと食事を取れない、十分な教育が受けられないというお子さんは少なからず存在します。未来を担う子どもたちが、家庭環

医療と福祉の両輪で

困窮児への宅食事業も開始

大規模保育園・御所の杜はいくえんと併設の学童保育所を開設しました。「御所の杜」では医療的ケア児を受け入れることもできます。ずっと医療法人財団でやってきたことで、そこに社会福祉法人が加わったことで、ようやく車の両輪ができてきたと感じています。医療というエンジンに、児童福祉というモーターを組み合わせて、これからはハイブリッド仕様で、すべての子育て世帯が幸せになれるような地域づくりに貢献していきたいと思っています。

境のために将来を左右されないよう、困りごとを抱える子育て世帯には地域社会が手を差し伸べる仕組みをつくりたい。そして、生まれ育った京都に住み続けて、結婚して家庭を持って、子どもを産み育てたいと願う若い人たちが増えてくれれば、20年後には少子化がストップできるのではないでしょう。か。そのための将来への投資は惜しむべきではないと思っています。



不妊治療で他院と提携

——足立病院の不妊治療による妊娠数は昨年も好成績でした
畑山 正確な数字は集計中ですが、年間1600人を上回ったようです。最も多い月は過去最高の166人を記録しました。これまでも体外受精を繰り返しても子宮内膜に着床しなかった患者さんの治療に、ERA(子宮内膜着床能)検査という遺伝子検査などを新たに導入したところ、これが奏功して好結果に結びついています。また、昨秋には、受精卵を育てる培養器を最新鋭のものに一新しました。今年はさらに妊娠数が伸びることが期待されています。

——不妊治療については他の病院とも提携されていますね
畑山 当院では京都府北部にお住まいの不妊症の方のために、綾部市の由良産婦人科医院と京丹後市の丹後中央病院に産婦人科医を派遣しています。そして、この2月からは三菱京都病院(京都市西京区)にも専門医を派遣して、新たな不妊治療の拠点をつくる予定です。当院の生殖内分泌医療センターには西京区周辺から通院され

ている患者さんも多く、また、阪急桂駅が最寄り駅ですので、お隣の高槻市の方も通いやすくなります。三菱京都病院は総合病院ですし、NICU(新生児集中治療室)もありますので、お互いに得意なところで協力していければと思っています。

——海外の病院とお話もありませぬ
畑山 中国・山東省の青島市にある医療機関と昨年12月に協定を締結しました。近年、当院の不妊治療の実績が伝わったのか、中国から個人で来日して受診する、いわゆる医療ツーリズムのケースが増えています。ただ、外国人の方に個別で対応するのはいろいろ難しい面もありますので、法人間で提携して、医療施設から不妊症患者さんを紹介してもらおう形に変えます。わざわざ海外から京都の当院まで来て不妊治療を受けたいと考えてくださる方には、可能な限り門戸を開きたいとは思っています。今年はこの新しい取り組みが本格的に始動していきます。何事も長く続けていくことに意味がありますので、それぞれを着実に進められるよう努めます。

【三菱京都病院・足立病院】提携記念
～公開講座～
日時 2月2日(日) 14:00～(13:30開場)
会場 イオンモール京都桂川 3階イオンホール
演題 「一般病院で行われる不妊治療の総論」(三菱京都病院産婦人科副部長 杉並 興)
「難治性不妊の原因と最新の不妊治療法」(足立病院生殖内分泌医療センター長 中山 貴弘)
受講料 無料
お申し込みは右のQRコードから



医療法人財団 足立病院

http://www.adachi-hospital.com/
産婦人科 ☎075-221-7431
小児科 ☎075-211-9000
在宅医療部 ☎075-213-6760



シンフォニア御池

http://www.symphonia-oike.com/
2F/3F
●足立病院生殖内分泌医療センター
☎075-253-1382